

第5次和寒町総合計画

【前編】

町民意向調査

結果をお知らせします

第5次総合計画（平成32年度までの10年間の計画）の策定に伴い、多くの町民の皆さんに町民意向調査のご協力をいただきありがとうございました。

その結果の概要を次のとおりまとめましたので、お知らせします。また、貴重なご意見を計画に反映してまいります。

総合計画ってなに？

総合計画とは、私たちの町が住みよく、安心して快適に暮らしていくことができるよう、今後10年間（平成23～32年度）のまちづくりの基本構想や計画を定めたものです。

集計結果の概要

和寒町に住む18歳以上の町民から無作為に1,500名抽出し、郵送による配布・回収により781件（回収率52.1%）の回答をいただきました。

調査方法		回答結果	
調査方法	18歳以上1,500名抽出	配布数	1,500通
	郵送による配布回収	回答数	781通
調査時期	平成22年6月	回答率	52.1%

回答者の属性

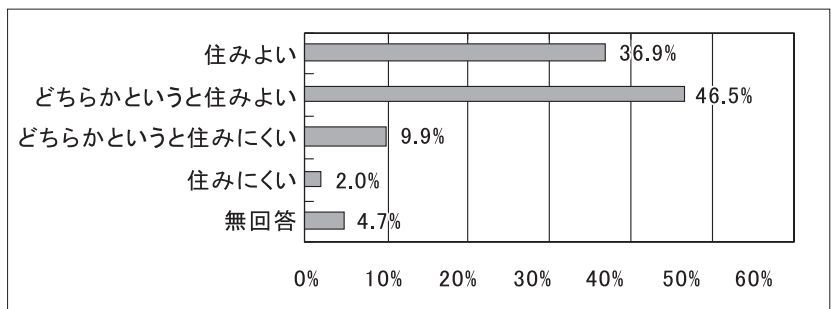
男性4割、女性5割、年齢別では60歳代以上の方々の回答が6割を越えています。

性別		年齢別			
男性	39.1%	10歳代	0.7%	50歳代	11.8%
女性	52.0%	20歳代	6.0%	60歳代	24.8%
無回答	8.9%	30歳代	9.3%	70歳以上	37.4%
		40歳代	9.0%	無回答	1.0%

住みごちについて

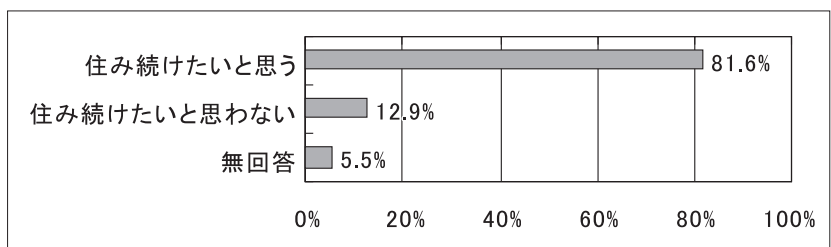
住みよいところですか。

「住みよい」「どちらかという住みよい」をあわせると83.4%となり、住みごちに関しては前回よりも約4%増加しています。

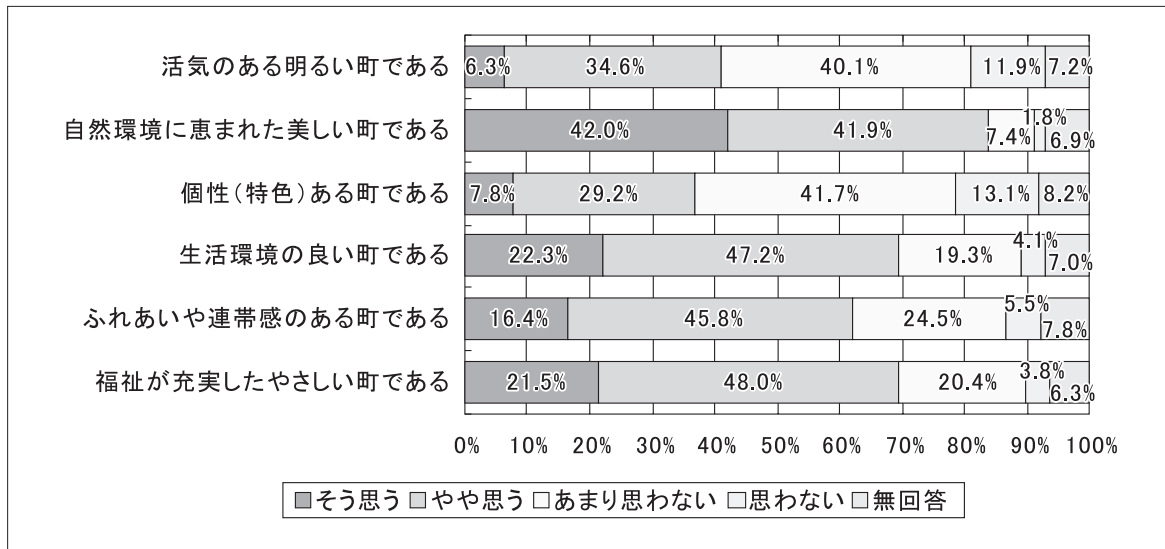


住み続けたいと思いますか。

「住み続けたいと思う」と回答された方が81.6%となり、前回よりも約8%増加しています。

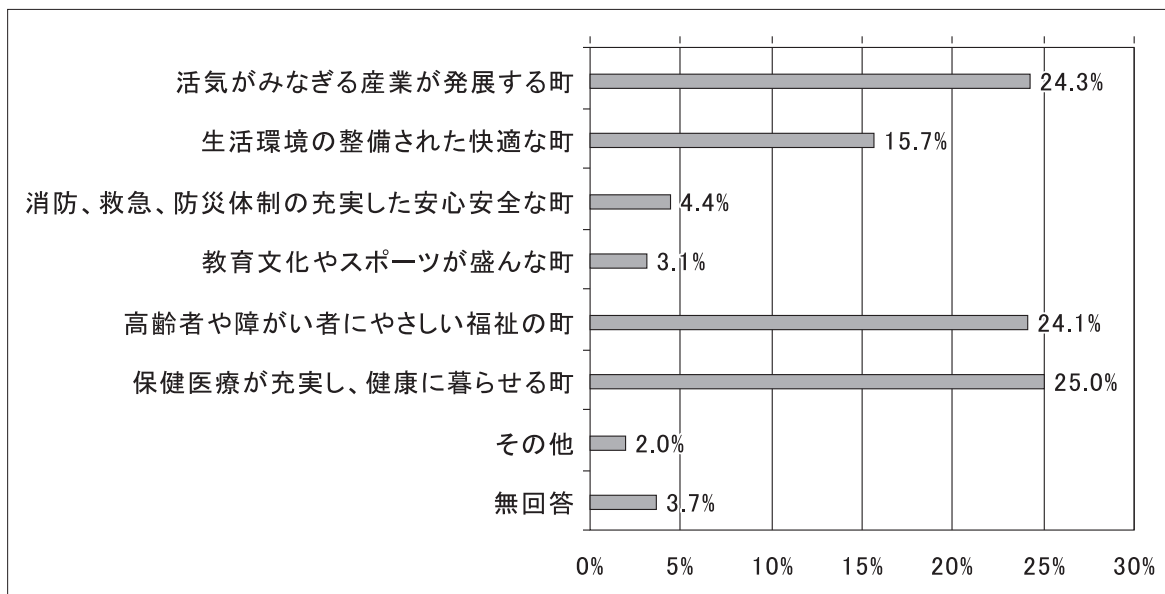


町のイメージについて



「そう思う」と「ややそう思う」をプラスイメージの回答とすると「自然環境に恵まれた美しい町である」と「生活環境の良い町である」「ふれあいや連帯感のある町である」「福祉が充実したやさしい町である」で過半数を超える構成比となっています。それに対し「活気のある明るい町である」と「個性(特色)ある町である」は「思わない」「あまり思わない」のマイナスイメージが過半数を占め「自然環境や生活環境が良く、ふれあい・連帯感があり、福祉は概ね充実しているが、あまり活気や個性があると思わない」という印象になっています。

今後の町のイメージについて



「保健医療が充実し、健康に暮らせる町」「活気がみなぎる産業が発展する町」「高齢者や障がい者にやさしい福祉の町」でそれぞれ2割を超えており、この3つで全体の7割を超える結果となり特に関心の高い項目となっています。回答者の多くは60歳以上であることから福祉・医療面での充実を求めている結果となっていますが、年齢別に見ると「活気がみなぎる産業が発展する町」は各年代で高い構成比となっており、また「生活環境の整備された快適な町」は10～50歳台で特異的に高い構成比となっています。

次号では「今後力を入れるべき各分野毎の政策」「町政について」などの結果を掲載いたします